

1 調査の概要

1-1 目的

市内では人口減少や少子化等の影響により、空き家が増加してきたことから、地域での防災・防犯面やコミュニティの衰退が懸念されており、老朽化した空き家の適正管理などが新たな課題となってきました。

そこで、そういった地域の課題をできる限り早期解決に向けて取り組むため、空き家情報調査を行うこととしました。

本調査は、市内全域での空き家の状況や空き家に対する所有者の意向などについて、実態を把握し、空家バンク登録を促し、今後の空き家対策の資料を作成するために行うものです。

1-2 調査内容

この調査では、主に次の4つの調査を行います。

(1) 空家所在地調査

余呉、西浅井地域の全自治会を対象に空き家の所在地を調査。

調査票未提出自治会を対象に水道閉栓情報で調査。

(2) 空家管理者調査

空家の管理人（納税管理人等）を調査。

(3) 所有者意向調査

所有者へ意向調査票を配布。

空家バンクへ登録を促しつつ、管理計画を調査

(4) 空家現地確認調査

空家の現状を確認。管理が適正でないときは管理人へ助言文書を送付。

現状と意向調査を基に、令和5年に市内全域の空家増減等を調査予定。